

本 会 記 事

会 告	会員専用(会員マイページ)のご案内とご登録情報ご確認のお願い	737
	日本金属学会フェロー 推薦募集の案内	738
	2027年春期講演大会 国外研究者特別講演・国外研究者招待講演 推薦募集	739
	2027, 2028年度代議員候補者の立候補募集	740
	2027, 2028年度代議員選挙管理委員会委員の募集	741
	2027, 2028年度監事候補者の立候補募集	741
	第35回奨学賞の推薦校募集について	742
	第7回フロンティア研究助成の採択について	742
	第50回技術開発賞「新技術・新製品」記事募集	743
	(予告)オンライン教育講座「基礎シリーズ」新規開講のご案内	745
	オンライン教育講座の開催案内	746
	オンデマンド配信：オンライン教育講座の開催案内	747

支部行事	743
掲示板	749
新入会員	750
会誌・欧文誌10号目次	751
次号予告	752
書評	752
行事カレンダー	753

◎本会へのお問合せは下記URLをご利用下さい。
<https://jimm.jp/contact/>

- ・投稿規程・出版案内・入会申込はホームページをご利用下さい。
- ・支部行事、掲示板、研究集会等の情報は、ホームページにも掲載しております。
- ・会員特典による「まてりあ」「Materials Transactions」の電子版の閲覧には、会員マイページにあるIDとパスワードが必要です。

会 告 (ホームページもご参照下さい)

会員専用(会員マイページ)のご案内とご登録情報ご確認のお願い

住所変更などでのご登録情報の更新は、皆様の会員マイページから変更ができます。また会費支払いに関するご案内は、マイページで登録いただいたE-mailアドレスに届きますので、皆様のご登録情報のご確認をお願いいたします。

1. 本会ホームページから会員マイページにアクセスします。
2. アカウント確認/ログイン画面から、ご登録のE-mailにてログインして下さい。

公益社団法人 日本金属学会
アカウント確認/ログイン

【システムメンテナンス停止のお知らせ】
9月10日(木) 21:00 - 24:00
※終了時間は前後する可能性があります。
メンテナンス中はマイページをご利用いただけません。上記時間を空けてご利用ください。

A-Passをお持ちの方は、アカウント登録したメールアドレスを入力してください。

▶ A-Passとは?

▶ 初めてログインする方、A-Passをお持ち不明の方

メールアドレス

次へ

ログイン方法がわからない方はヘルプをご確認ください。

または

ヘルプ 学会サイト Englis

SMOOSYは学会に特化した会員管理サービスです

会員の皆さまにおいて 学会運営において

請求書、領収書のダウンロード マイページから情報発信

プロフィール編集 会員情報の最新化

会費の支払い 会費管理の効率化

マイページのご利用方法はヘルプをご確認ください。
資料請求はSMOOSY紹介ページからお問い合わせください。

推薦締切：2026年11月13日(金)

本会では、本会の代表的会員として、金属およびその関連分野における学術・科学技術・産業、教育・人材育成等に造詣の深い会員であって、自らが積極的に本会の事業に参画・活動することが期待される者に対して日本金属学会フェローを授与いたします。下記の募集要項をご確認いただき、積極的にご推薦下さい。

推薦要項

【推薦方法】

- (1) 推薦は、理事、代議員、フェロー、支部長、各分科委員長、維持員(正員資格付与者)、3名の正員による推薦および本人による自薦による。
- (2) 1名の推薦者が推薦できる候補者数は、1名とする。
- (3) 所定の推薦書に、必要事項を記入の上、提出する。
- (4) 必要事項は以下の通り。

- 候補者(氏名・連絡先等)
- フェローの責務を果たすことの承諾および活動
注：候補者本人の承諾を得た上、責務を果たすことの確認と果たすことができる責務・活動を記入する。果たすべき責務は下記【責務】に示すとおり。
- 候補者の略歴
- 推薦タイトルとカテゴリー
- 業績や貢献の内容と推薦理由
- 推薦者(氏名・推薦者区分・連絡先等)

【責務】

フェローを得た会員は、金属およびその関連材料分野を先導し、若手研究者・技術者の目標となることを自覚し、当該分野の発展に一層寄与するとともに、本会の代表的会員として本会事業へ積極的に参画し、本会の目的の達成に率先して努力する責務を負うものとする。

フェローは次のいずれかの活動を行うものとする。

- (1) 若手研究者および若手技術者の啓発・人材育成
 - まてりあへの入門講座・講義ノート・実学講座等の啓発記事の執筆
 - まてりあへの若手研究者・技術者を対象とした論文執筆のコツ・テクニック・注意事項等の啓発記事の執筆
 - 学校・企業等への出前講義等
- (2) 知識・技術の伝承
 - 本会機関誌へのレビュー・オーバービュー・解説の執筆
 - 教科書等の書籍の執筆
 - 講演会・講座・セミナー・シンポジウム・チュートリアル講演等の講師
 - フェローは必要に応じて、技術相談、論文執筆相談、機関誌の特集記事の企画提案、研究費申請相談の活動

を行うものとする。

- フェローは、当該年度の活動報告および次年度の活動計画を作成するものとする。
- フェローは、本会正員として会費を支払うものとする。
注：フェローとして活動するに際しては、本会の謝金規程および旅費支給規程に従って謝礼や旅費の支払を受けることができるものとする。

【フェローの要件】

フェローの対象となる者は、フェローの責務を積極的に負える者であって、金属およびその関連分野における学術・科学技術・産業、教育・人材育成等に造詣の深い会員であること。

【フェローの数】

フェローの人数は本会正員の1%を上限とする。

【審査・認定】

- フェローの選考は、フェロー選考委員会があたり、理事会で授与候補者を決定する。
- 授与を決定した者に、春期講演大会時に開催される表彰式でフェローを授与する。
- 授与者にはフェローの認定証書を贈呈する。
- 適切な候補者がいない場合は、その年度は授与しない。

【任期】

- フェローの任期は5年とする。ただし、再任することができる。
- フェローが本会会員でなくなったとき、あるいは名誉員や永年会員となった場合はフェローを返上するものとする。
- フェローの責務を果たすことが困難等の理由で、本人から返上の申し出があったときは、フェローの称号の返上を認めるものとする。

申請先 申請書 (<https://data.jimm.jp/jim/shou/fellow/form.docx> にてダウンロードして下さい) を下記 E-mail アドレスに送付して下さい。2, 3 日過ぎても受理返信通知のない場合はご連絡下さい。

問合せ先 (公社)日本金属学会フェロー係
E-mail: award@jimm.jp ☎ 022-223-3685

2027年春期講演大会 国外研究者特別講演・国外研究者招待講演 推薦募集
(旧外国人特別講演・外国人招待講演)

推薦締め切り：2026年11月17日(火)

春秋大会における国外研究者による特別講演と招待講演については会員(正員)からの推薦をもとに、国際学術交流委員会において審議採択し、講演実施細目については講演大会委員会で決定いたします。2027年春期講演大会の特別講演と招待講演を募集いたしますので、下記要領によりご推薦下さい。

(実施ルール)

講師の定義と選定基準

・特別講演者(Special Keynote Speaker)

日本国外で活動する研究者の内、当該分野において世界最高峰の業績や知名度を有し、イベントのメインスピーカーとなる者として推薦され、国際学術交流委員会にて承認された者。春秋の各講演大会に対して、原則として4名までとする。

・招待講演者(Invited Speaker)

日本国外で活動する研究者の内、特定のセッションやシンポジウムにおいて、専門的な知見を共有する者として推薦され、国際学術交流委員会にて承認された者。春秋の各講演大会に対して、原則として5名までとする。

招聘・承認プロセス

1. **推薦・申請**：推薦者は、所定の「国外研究者 特別・招待講演 申請書」(所属、役職、経歴、研究業績、講演題目、セッション名、推薦理由、推薦者名、補助概算額を含む)を指定の期日までに事務局へ提出する。推薦者の資格は正員とする。
2. **審査・承認**：国際学術交流委員会にて費用対効果およびプログラムへの貢献度を審議して承認し、理事会にて報告を行う。
3. **依頼状(Invitation Letter)の送付**：承認後、会長名義で公式な依頼状を英文にて送付する。

待遇・費用負担基準

区 分	特別講演者	招待講演者
講演時間	講演30分～50分/討論10分	講演15分～25分/討論5分
謝金	本会の謝金規程の額を支給	本会の謝金規程の額を支給
参加登録費	免除(本人のみ)	免除(本人のみ)
懇親会招待	あり	あり

運営・サポート体制(アテンド)

招聘講師の講演大会参加アテンド、ビザ取得サポート、保険等は原則として推薦者が行うこととする。

講演当日の運用

言語と座長(Chairperson)

○講演は原則として英語(または指定の言語)で行う。

○座長は、該当分野の専門家であり、かつ英語での質疑応答を円滑にファシリテーションできる者を配置する。

プログラムおよび講演概要

- (1) すべての講演者に対し、他講演と同等形式(A4サイズ・1枚)の講演概要の提出を義務付ける。提出は推薦者を通じ事務局に期日までに提出する。
- (2) 推薦書申請の際に記載された講演題目で講演登録となり、プログラムは同申請内容のセッションまたはシンポジウムでプログラム編成を行う。

著作権および配信の取扱い

提出された講演概要の著作権は本会に帰属するものとする。また、オンライン配信等を行う場合、発表内容の無断録画・録音・撮影は一律禁止とする。

推薦用紙

所定様式(ホームページからダウンロード下さい)により、下記メールアドレス宛に「国外研究者特別講演推薦」と明記のうえ、お送り下さい。送信後2～3日過ぎても受理メールの無い場合はお問い合わせ下さい。

推薦書提出期日 2026年11月17日(火)

照会・推薦書提出先

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32 (公社)日本金属学会 国際学術交流委員会宛

 022-223-3685 E-mail: stevent@jimm.jp

公益社団法人日本金属学会
2027・2028年度代議員候補者の立候補募集

会 長 吉見享祐

本会の細則にて代議員の全数を2年おきに選挙で選任することになっております。

つきましては、定時社員総会(2027年4月22日開催予定)で選任される2027、2028年度代議員の選挙を次の要領で実施しますので、代議員候補者の立候補を募ります。

1. 地区別および本部枠代議員候補者改選数

地区	2025-2026年 代議員数	2027-2028年 代議員数
北海道	3	4
東北	10	10
関東	31	39
東海	11	11
北陸信越	6	5
関西	19	19
中国四国	7	6
九州	6	6
計	93	100

*地区別代議員の定員

地区別の代議員の総数がおおむね100名となるように直近の事業年度末の正員数当たりの代議員数の割合を決め、直近の事業年度末の当該地区の正員数をその割合で割って、端数を四捨五入して算出するものとする(細則第3条代議員定員)

*代議員の任期

選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結のときまで(2027年4月22日に開催予定の定時社員総会から2029年4月に開催予定の定時社員総会の終結まで)。

2. 立候補受付期間

2026年10月1日～10月26日

3. 立候補応募方法

所定の様式(<https://data.jimm.jp/jim/daigiin.docx>)に、地区名、本部枠の区分を記載し、住所、氏名、勤務先および連絡先(Tel, FAX, E-mail)をご記入の上、上記期日までに電子メールにてご送信下さい(立候補受付後、受付メールを3日以内に返信いたします。受付メールが届かない場合には、ご連絡下さい)。

4. 注意事項

- 本会ホームページの「情報公開」の「主要規程」に公開してある「代議員選挙規程」を予めご承知願います。
- 次の方は代議員に立候補できません。
2期継続就任代議員、学生会員、外国会員、2026年度会費未納者、会員資格停止中の者。本部枠代議員は、維持員から指名された正員以外の者。

- 代理人(本会の正員、本部枠代議員は維持員の連絡担当者に限る)が立候補を届出する場合は、代理人の住所、氏名、勤務先および連絡先(Tel, FAX, E-mail)もご記入下さい。

- 選挙投票フォームの立候補者名は受付順に記載されます。

5. 問合せ・応募先

(公社)日本金属学会 代議員選挙管理委員会
事務局 千葉博紀 E-mail: editjt@jimm.jp

◆代議員選挙日程(予定)◆

2027・2028年度の代議員選挙は2026年12月1日～12月28日にWebフォームによる投票を予定しております。メールで案内をいたしますので、11月27日までに「会員マイページ」にてメールアドレスのご確認・ご修正をお願いします。

2027・2028年度代議員に加えない方(36名)

北海道地区 1名

林 重成 北海道大学

東北地区 4名

及川 勝成 東北大学 亀岡 聡 東北大学
野村 直之 東北大学 平塚 貞人 岩手大学

関東地区 14名

石橋 良 (株)日立製作所 上路林太郎 物質・材料研究機構
韋 富高 日本冶金工業(株) 枝川 圭一 東京大学
大村 朋彦 日本製鉄(株) 柴田 暁伸 物質・材料研究機構
多田 英司 東京科学大学 田村 隆治 東京理科大学
堤 祐介 物質・材料研究機構 寺前 俊哉 (株)プロテリアル
林 幸 東京科学大学 廣澤 渉一 横浜国立大学
松野 泰也 千葉大学 宮澤 靖幸 東海大学

東海地区 4名

東 昌史 日本製鉄(株) 濱田 典彦 愛知製鋼(株)
前嶋 貴士 (株)豊田中央研究所 渡辺 義見 名古屋工業大学

北陸信越地区 2名

福元 謙一 福井大学 松田 健二 富山大学

関西地区 4名

西山 佳孝 日本製鉄(株) 春名 匠 関西大学
藤原 弘 立命館大学 村上 俊夫 (株)神戸製鋼所

中国四国地区 2名

岡田 達也 徳島大学 松木 一弘 広島大学

九州地区 2名

宮原 広郁 九州大学 村上 恭和 九州大学

本部枠 3名

茅野 林造 (株)日本製鋼所 兒島 洋一 (株)UACJ
長滝 康伸 JFE スチール(株)

公益社団法人日本金属学会
2027・2028年度代議員選挙管理委員会委員の募集

2026年12月に実施する代議員選挙の選挙管理委員会
の委員を募集いたします。

受付期間 2026年10月1日～10月26日

応募方法 応募用紙 (<https://data.jimm.jp/jim/kanri.docx>)
に住所、氏名、勤務先および連絡先(TEL, FAX,
E-mail)をご記入の上、**電子メールにてご送信**
下さい(応募受付後、受付メールを3日以内に返信
いたします。受付メールが届かない場合には、ご
連絡下さい)。

募集人数 3名

問合せ・応募先

(公社)日本金属学会 代議員選挙管理委員会
事務局 千葉博紀 E-mail: editjt@jimm.jp

公益社団法人日本金属学会
2027・2028年度監事候補者の立候補募集

会 長 吉見享祐

定時社員総会(2027年4月22日開催予定)にて選任される
監事につきまして、本会細則に基づき、正員による立候補者
の募集を実施いたします。つきましては、監事への立候補を
希望される方は、下記要領に従ってご応募下さい。

1. 監事候補者選挙数 2名

2. 監事候補者対象地区 全地区

3. 任期 定時社員総会の選任日(2027年4月22日予定)か
ら、2回目に終了する事業年度に関する定時社員
総会(2029年4月予定)の終結まで。

4. 監事の職務および権限(定款第25条)

第25条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定
めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報
告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をする
ことができる。

3 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるとき
は、意見を述べなければならない。

4 監事は、理事が不正の行為をし、若しくはその行為を
するおそれがあると認められるとき、又は法令若しくは
定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると
認めるときは、これを理事会に報告しなければならない。

5 監事は前号の報告をするため必要があるときは、会長
に理事会の招集を請求することができる。ただし、その
請求があった日から5日以内に、2週間以内の日を理事
会とする招集通知が発せられない場合は、直接理事会を
招集することができる。

6 監事は、理事が社員総会に提出しようとする議案、書
類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款

に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるとき
は、その調査の結果を社員総会に報告しなければならない。

7 監事は、理事がこの法人の目的の範囲外の行為その他
法令若しくは定款に違反する行為をし、又はこれらの行
為をするおそれがある場合において、その行為によって
この法人に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、そ
の理事に対し、その行為をやめることを請求しなければ
ならない。

8 監事は、監事に認められた法令上の権限を行使するこ
とができる。

5. 立候補受付期間 2026年10月1日～10月26日

6. 立候補応募方法

所定の用紙 (<https://data.jimm.jp/jim/kanji.docx>) に住
所、氏名、勤務先および連絡先(TEL, FAX, E-mail)を
ご記入の上、上記期日までに**電子メールにてご送信**下さい
(応募受付後、受付メールを3日以内に返信いたします。
受付メールが届かない場合には、ご連絡下さい)。

7. 注意事項

①立候補届出時に2026年度正員会費を納入していない正
員の届出は無効になります。

②選挙投票用紙の立候補者名は受付順に記載します。

8. 問合せ・応募先

(公社)日本金属学会 監事選挙管理係
事務局 千葉博紀 E-mail: editjt@jimm.jp

◇監事選挙日程(予定)◇

2027・2028年度の監事選挙の投票は、2026年12月1日～
12月28日を予定しておりますので、ご承知おきます。

◇ ◇ ◇

第35回日本鉄鋼協会・日本金属学会奨学賞の推薦校募集について

応募締切：2026年11月4日(水)

奨学賞は全国大学材料関係教室協議会参加大学の学部学生を対象にしておりますが、材料分野の発展の貢献が期待できる多くの優秀な学生を幅広く奨励するため、全国大学材料関係教室協議会参加大学以外の教育機関からも広く募集いたします。下記要項によりご応募下さい。

奨学賞募集要項

教育機関の募集

- ・国内の材料系の学科又はコース等を有する大学、短期大学および高等専門学校
- ・同一の教育機関(1校)の応募数は、関係する材料系の学科又はコース等に拘らず1件とします。

教育機関における候補者の対象

- ・大学は、学士課程4年に在学する学生。
- ・短期大学は、短期大学士課程2年に在学する学生
- ・高等専門学校は、専攻科2年に在学する学生。

推薦校の推薦者資格

- ・教育機関の代表専攻長(代表学科主任)
同一教育機関の応募窓口は事前にご調整願います。
- ・下記の全国大学材料関係教室協議会の参加大学には、推薦校の資格が与えられます。

手続き 所定の応募フォームをダウンロードし、必要事項を記入の上ご応募下さい。

(<https://isij.or.jp/about/data/commendation-s1.docx>)

応募締切 2026年11月4日(水)

申込問合先 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館5階

(一社)日本鉄鋼協会 奨学賞係

☎ 03-3669-5932 FAX 03-3669-5934 E-mail: inoue@isij.or.jp

◎2026年全国大学材料関係教室協議会の参加大学(33校)

大 学 名					
1	北海道大学	12	名古屋大学	23	兵庫県立大学
2	岩手大学	13	名古屋工業大学	24	千葉工業大学
3	秋田大学	14	京都大学	25	東京理科大学
4	東北大学	15	大阪大学	26	芝浦工業大学
5	茨城大学	16	島根大学	27	東海大学
6	東京大学	17	香川大学	28	金沢工業大学
7	東京科学大学	18	愛媛大学	29	関西大学
8	横浜国立大学	19	九州大学	30	近畿大学
9	長岡技術科学大学	20	九州工業大学	31	早稲田大学
10	富山大学	21	熊本大学	32	群馬大学
11	豊橋技術科学大学	22	大阪公立大学	33	産業技術短期大学

調査研究会委員会からのお知らせ

第7回フロンティア研究助成の採択について

フロンティア研究助成は、教育・研究機関での金属及びその関連材料分野の学術研究及び技術研究の発展や若手研究者の育成や奨励を目的で設立されました。

この度、第7回フロンティア研究助成の募集の結果、19件の応募があり、厳正な審査の結果、下記6件の研究の採択が決定いたしましたので、下記の通りご報告いたします。

採択数6件

申請受理順

番号	テ ー マ	開始年	開始月	終了年	終了月	申請金額(円)	申請名	所属機関	役職
1	鉄合金における粒界原子構造と溶質偏析の関係解明	2026	10	2028	9	1,000,000	張 咏杰	東北大学・金属材料研究所	准教授
2	高温酸化挙動と機能特性の相関に基づくTi-Ni系形状記憶合金の材料設計指針の構築	2026	10	2028	9	1,000,000	原島 亜弥	東京科学大学 総合研究院	助教
3	層状炭素化合物分散Ti-Al合金におけるTi-Al/MAX相界面の高温組織変化機構の解明	2026	9	2028	8	1,000,000	嶋田 雄介	九州大学 大学院総合理工学研究院	准教授
4	電流印加による超微細粒アルミニウム合金の高強度・高延性化	2026	9	2028	8	1,000,000	唐 永鵬	島根大学・材料エネルギー学部	助教
5	浮遊法を用いたCu合金融体における熱物性および過冷却特性の熱履歴依存性調査	2026	9	2028	8	1,000,000	清水 友斗	東北大学多元物質科学研究所	特任研究員
6	第一原理一般化スピンモデルの粗視化による温度依存マイクロマグネティックモデルの構築	2026	9	2028	9	1,000,000	田中 友規	東京科学大学・物質理工学院	特任助教

第50回公益社団法人日本金属学会技術開発賞 「新技術・新製品」記事募集

応募締切：2026年10月30日(金)

[本賞の趣旨]

本会は創意あふれる開発研究を推奨する目的で、金属工業に関する独創性に富む新技術・新製品の技術開発に優れた実績を収めた技術者に対し、本賞を授賞するものである。

技術開発賞募集要綱

以下の応募方法と合わせて、詳細は、65巻9号679頁またはホームページ（賞の募集）をご覧ください。

まてりあ「新技術・新製品」記事への応募の方法

「まてりあ」への掲載記事が技術開発賞の選考対象となる。
掲載が決まった場合には、刷り上がり1ページ当たり30,800円の投稿料を納入すること。

ただし掲載号1冊、掲載記事のPDFファイルを無料とする。
原稿作成について

- (1) 原稿は本文、図(写真)および表を含めて刷り上がり3頁以内(約6,700字)とする。
- (2) 原稿は図・表の説明を含めて全て日本語とする。物理量の単位はなるべくSI単位系による。
- (3) 原稿はレイアウトの体裁にあわせて作成する。
- (4) 応募は、下記Webサイトから申込む。
URL <https://data.jimm.jp/jim/shou/gikai/sui/>
ホームページから直接入力→原稿をZip形式ファイルでアップロード→受理mailの発行→受付完了。
原稿ファイルの提出；本文、図表、レイアウトを別個に作成し、Zip形式(ファイルサイズ上限は50MB)でまとめる。

①[レイアウト用紙](Webサイトにてダウンロード可能)

②図(写真)・表

- ・図と写真は区別せず図1、図2…のように、表は、表1、表2…のようにそれぞれ通し番号とする。
- ・写真にはスケールを入れる。
- ・それぞれキャプションを付すること。
(記述は横軸・縦軸・説明も含めすべて日本語とする。)
- ・カラー原稿にはカラー印刷の有無を必ず明記する。
- ・カラー印刷は刷り1頁あたり38,500円を著者が負担する。

掲載された記事の著作権を本会に委譲すること。

まてりあ一般記事の要領に従うこと。(まてりあ掲載「新技術・新製品」記事を参考にする)

提出資料

- ①レイアウトされた原稿 ②本文テキスト ③図表原稿
④①～③のデータファイル(Zip形式でアップロードする。)

申込・送付先

(公社)日本金属学会各賞係

☎ 022-223-3685 E-mail: award@jimm.jp

「新技術・新製品」記事の問合せ先

まてりあ係 E-mail: materia@jimm.jp

支部行事



第23回 ヤングメタラジスト研究交流 会開催のご案内

ヤングメタラジスト研究交流会は、関東支部内の大学や企業に所属する若手研究者の交流を目的とし2004年に第1回目が開催されて以降、今年で第23回目を迎えます。支部内の若手研究者と研究に熱意ある学生が研究活動の報告を通じて互いに交流し、連携を深めることで、関東支部の金属材料研究がより一層活性化することを目指しております。本年度は、JFE スチール株式会社東日本製鉄所千葉地区(千葉市中央区)を会場とし、工場見学、招待講演、およびポスターセッションを対面で開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2026年11月5日(木)10:30～19:30

場所およびアクセス

◇工場見学から学生ポスター賞表彰式まで

場所：JFE スチール株式会社 東日本製鉄所 千葉地区 見学センター

アクセス：JR 蘇我駅より徒歩約13分

https://www.jfe-steel.co.jp/company/map/jfe/pdf/chiba_access.pdf

◇意見交換会

場所：JFE みやざき倶楽部

アクセス：京成電鉄千葉寺駅より徒歩約9分、JR 蘇我駅より徒歩約15分

<https://www.miyazaki-club.com/%E3%82%A2%E3%82%AF%E3%82%BB%E3%82%B9/>

スケジュール(参加者数に応じて変更の可能性があります)

10:10～10:30 開場・受付

10:30～12:00 工場見学(希望者のみ。不参加の方は13:00～受付開始予定)

12:00～13:30 昼食休憩(昼食はご持参いただくか近隣の飲食店をご利用下さい)

13:30～13:45 開会挨拶

13:45～15:45 ポスターセッション

16:00～17:00 招待講演

17:00～17:30 閉会挨拶、学生ポスター賞表彰式

17:30～18:00 移動(バス)

18:00～19:30 意見交換会(希望者のみ)

講演プログラム(講演題目は仮)

16:00～16:30 JFE スチールにおける研究活動と材料開発
JFE スチール株式会社 スチール研究所

薄板研究部 知場三周

16:30～17:00 航空宇宙用構造物の信頼性向上と軽量化に資する材料研究—チタン合金の損傷評価法と形状記憶合金の製造プロセス—

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所

宇宙飛行工学研究系 松宮 久

参加費 無料(意見交換会では別途、学生2,000円/一般4,000円の参加費を申し受けます。)

参加申込方法 研究交流会に参加をご希望の方は
10/15(木)までに下記リンクの申し込み
フォームからご登録下さい。



<https://forms.cloud.microsoft/r/w81SsfryXN>

注意事項

- 工場見学では、参加希望人数によってはご希望に添えない場合がございます。その場合は先着順に参加者を決定しますので、希望する方はお早めの申し込みをお願いします。なお、運営の都合により、企業所属の方は、業種によっては工場見学への参加をお断りさせていただく場合がございますのでご了承下さい。
- 工場見学には参加せずにポスターセッションからの参加も可能です。ポスターセッション以降のプログラムには、企業所属の方もご参加いただけます。
- 昼食休憩では昼食のご用意はございません。お手数ですが、昼食はご持参いただくか、近隣の飲食店をご利用下さい。
- ポスター発表希望者は講演概要の提出をお願いします。
講演概要の提出締切：10/22(木)
申し込みフォームにテンプレートへのリンクを掲載しておりますので、ダウンロードしてご作成下さい。(提出先はテンプレートに記載されています。)
- ポスターはA0サイズ(841 mm×1189 mm)縦型にてご作成下さい。
- ポスター発表は審査員が審査採点して優秀ポスターを選出し、「学生ポスター賞」を贈呈します。受賞要件は以下のとおりです。
 - ① 2026年4月1日時点で30歳以下の学生であること。
 - ② 過去にこの賞を受賞していないこと。
 - ③ 代理発表者ではないこと。

詳細な実施方法は、申込み頂いた方へ改めてご案内する予定です。

各種問合せ窓口(下記両方を宛先として下さい)

JFE スチール株式会社 樋口 翔(幹事)

E-mail: sh-higuchi@jfe-steel.co.jp

東京科学大学 松村隆太郎

E-mail: matsumura.r.aa@m.titech.ac.jp



2026年度 関東支部見学会

以下の要領で宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所との技術交流会を実施しますので、奮ってご参加下さい。

日時 2026年11月25日(水)15:00~17:00(予定)

場所 JAXA 相模原キャンパス/宇宙科学研究所
(〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台 3-1-1)

集合場所 JAXA 相模原キャンパス 正門前
(JR 横浜線 淵野辺駅より徒歩20分 またはバス利用など)

集合時間 14:50

内容 技術講演および研究所見学

対象者 関東支部を主とする日本金属学会会員、および関東圏大学の学生・院生

定員 20名程度(定員となり次第、締め切りとさせていただきます)

申込方法 下記フォームにてお申込み下さい。

申込締切 2026年11月10日(火)17時

申込先 <https://forms.gle/pKkRcsHDqUfdUUQiQ8>

注意 ヒールの高い靴、サンダルなどでの参加はご遠慮下さい。

研究所内では、動画・写真などの撮影はできません。

その他 申込者情報は、JAXA と共有されます。

日本国籍の方のみ、お申込み可能です。また、日本国籍の方であっても、見学会への参加をお断りする場合がありますので、ご了承下さいますようお願いいたします。

問合先 東京科学大学物質理工学院材料系
日本金属学会関東支部委員 春本宛
E-mail: harumoto@mct.isct.ac.jp



(予告)

日本金属学会オンライン教育講座「基礎シリーズ」新規開講のご案内

現在、日本金属学会では、会員サービスの向上と若手研究者・学生の教育支援を目的として、オンライン教育講座を開講しております。その新たなシリーズとして、2027年1月からオンライン教育講座「基礎シリーズ」を開講いたします。本講座は、新しく社会人になり材料分野に携わる方をはじめ、材料分野の基礎を学ぶ機会が少なかった方や、改めて基礎を学び直したい方など、幅広い方々におすすめの内容です。材料関連分野で必須となる基礎知識を、本会のフェローをはじめとする実績豊富な講師陣が体系的に解説します。スキルアップや社内研修、研究室での教育など、さまざまな場面でぜひご活用下さい。

【基礎シリーズの特長】

- 受講期間：視聴登録から3か月間(期間中は何度でも繰り返し視聴可能)
- 修了証書：講義後の演習問題で所定の基準を満たした受講者に発行

【基礎シリーズ講座一覧】

◆2027年1月開講予定

「構造材料組織学」	講師：津崎 兼彰(九州大学・名誉教授、物質・材料研究機構・名誉フェロー)
「結晶学」	講師：松原 英一郎(京都大学・名誉教授)
	講師：土谷 浩一(物質・材料研究機構・名誉研究員)
「材料強度学」	講師：東田 賢二(九州大学・名誉教授)

◆2027年6月開講予定

「熱力学の基礎」	講師：吉川 健(大阪大学・教授)
「材料の熱力学」	講師：梶原 正憲(東京科学大学・名誉教授)

【受講料】(税込)

受講者区分	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金※
一般(非会員)	50,000円	35,000円
学生(非会員)	20,000円	14,000円
正 員	25,000円	17,500円
学生会員	10,000円	7,000円

○本会維持員会社社員は正員扱い。

※オンライン教育講座「基礎シリーズ」を2講座以上受講する場合、2講座目からは割引料金(30%割引)となります。

問合せ先 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

E-mail: meeting@jimmm.jp ☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

※講義概要や申込方法などの詳細は、第66巻第1号(2027)でご案内いたします。

日本金属学会オンライン教育講座 開催案内

『構造材料の観察・分析技術(1)：バルク組成分析』

日 時 1 日目 2026年11月12日(木)13：30～16：45 2 日目 11月13日(金)13：30～16：45

カリキュラム

2026年11月12日(木) 13：30～16：45

13：30～15：00 EPMA による微小領域の元素分析(講師：塚本 一徳)

15：00～15：15 —休憩—

15：15～16：45 TEM による微細組織観察(講師：杉山 昌章)

2026年11月13日(金) 13：30～16：45

13：30～15：00 FIB-SEM/TEM/APT を組み合わせたマルチスケール組織解析(講師：大久保 忠勝)

15：00～15：15 —休憩—

15：15～16：45 X 線・中性子回折および小角散乱法による組織・構造解析(講師：大沼 正人)

講師紹介

日本電子株式会社・副主査 塚本 一徳

大阪大学超高压電子顕微鏡センター・招へい教授 杉山 昌章

物質・材料研究機構 磁性・スピントロニクス材料研究センター・副センター長 大久保 忠勝

北海道大学工学研究院・教授 大沼 正人

申込締切 2026年11月 5 日(木)

詳 細 <https://jimm.jp/event/online/>

までりあ 9 号681頁

『医療用金属材料の基礎 2』

日 時 1 日目 2026年12月 3 日(木)13：30～16：45 2 日目 12月 4 日(金)13：30～16：45

カリキュラム

2026年12月 3 日(木) 13：30～16：45

13：30～15：00 チタンとその合金の基礎(講師：池田 勝彦)

15：00～15：15 —休憩—

15：15～16：45 チタン系バイオマテリアルの基礎と生体適合性(講師：池田 勝彦)

2026年12月 4 日(金) 13：30～16：45

13：30～15：00 マグネシウム合金の基礎(講師：向井 敏司)

15：00～15：15 —休憩—

15：15～16：45 医療機器応用に向けたマグネシウム合金の可能性(講師：向井 敏司)

講師紹介

株式会社日本スぺリア社 R&D センター・常任顧問、関西大学・名誉教授 池田 勝彦

神戸大学未来医工学研究開発センター/医学研究科医療創成工学専攻・教授 向井 敏司

申込締切 2026年11月26日(木)

詳 細 <https://jimm.jp/event/online/>

までりあ 9 号682頁



オンデマンド配信（日本金属学会オンライン教育講座）開催案内

New!!

『医療用無機材料の表面反応』

配信：2026年11月30日(月)～12月28日(月)

講義概要

医療には多くの材料が使用されており，材料開発と医療の進歩とは密接な関係があります．本講座では，医療用無機材料に用いられる表面反応による抗菌化や骨結合性付与について，基礎から応用までを解説します．

本講座は2025年12月に開催された当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただきます．

配信期間中は好きな時間に何度でもご聴講いただけます．

カリキュラム

- 1 時限目 生体親和性セラミックスの基礎と機能強化(講師：春日 敏宏)
 - 2 時限目 生体親和性セラミックスの基礎と機能強化(講師：春日 敏宏)
 - 3 時限目 チタン・チタン合金の表面処理の基礎と抗菌化(講師：成島 尚之)
 - 4 時限目 チタン・チタン合金の表面処理の基礎と抗菌化(講師：成島 尚之)
- *トータル約6時間の講義になります．

講師紹介

名古屋工業大学・名誉教授 春日 敏宏

1983年3月 名古屋工業大学大学院修士課程修了；1983年4月～1991年6月 HOYA 株式会社；1991年7月 名古屋工業大学 助手；1993年5月 博士(工学)取得(大阪大学)；2004年3月～12月 英国インペリアルカレッジロンドン 文部科学省在外研究員；2004年4月～2024年3月 名古屋工業大学 教授；2024年4月～ 名古屋工業大学 産学協同研究講座(未来医療材料)担当(名古屋工業大学 名誉教授)，現在に至る．

東北大学・教授 成島 尚之

1987年3月 東北大学大学院工学研究科修士課程修了；1987年4月 東北大学工学部 助手；1998年3月～1999年3月 米国カリフォルニア大学バークレー校 文部省在外研究員；2004年6月 東北大学先進医工学研究機構 教授；2007年4月～現在 東北大学大学院工学研究科 教授；2023年4月～現在 東北大学レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長，現在に至る．

コーディネーター 東北大学・教授 山本 雅哉

視聴期間 2026年11月30日(月)～12月28日(月)

視聴方法 オンデマンド配信システム UIshare から視聴いただきます．

資料は同システムのウェブサイトからダウンロードいただけます．

視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申込みにメールでご案内します．

申込方法 下記のサイトよりお申込み下さい．

①今年度*初めての受講(2026年3月1日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0047>

②今年度2講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0048>

受講料

対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金※
正 員	20,000円	15,000円
学 生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

○本会維持員会社社員，協賛学協会会員は正員扱い．
○学生は会員，非会員の区別なし．

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を2講座以上受講する場合，2講座目からは割引料金(25%割引)となります．

本会の維持員社員が同一講座に3名以上でお申込みの場合，受講料が正員価格より25%割引となります(お申込み前にご相談下さい)．ただし，複数受講との重複割引はありません．

申込期間 2026年10月1日(木)～12月7日(月)

受講料支払方法 ①カード決済 もしくは ②銀行振込のいずれかの方法を選択して下さい。

問合せ先 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

E-mail: meeting@jimm.jp ☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

協賛予定

エネルギー・資源学会, 応用物理学会, 金属系材料研究開発センター, 軽金属学会, 軽金属製品協会, 合金状態図研究会, 資源・素材学会, ステンレス協会, 素形材センター, 電気化学会, 電気学会, 日本アルミニウム協会, 日本MRS, 日本化学会, 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本磁気学会, 日本セラミックス協会, 日本塑性加工学会, 日本チタン協会, 日本鋳造工学会, 日本鉄鋼協会, 日本物理学会, 日本分析化学会, 粉体粉末冶金協会, 腐食防食学会, 表面技術協会, 日本チタン学会, 日本バイオマテリアル学会



『耐熱材料』

配信：2026年11月2日(月)～11月30日(月)

カリキュラム

- 1 時限目 耐熱材料の高温変形・破壊機構とその遷移(講師：丸山 公一)
 - 2 時限目 ガスタービン用 Ni 基耐熱合金の製造プロセスと高温強度(講師：笥 幸次)
 - 3 時限目 脱炭素化社会に資する耐熱材料の組織設計 1 ―航空機用 TiAl 基合金―(講師：竹山 雅夫)
 - 4 時限目 脱炭素化社会に資する耐熱材料の組織設計 2 ―発電用合金―(講師：竹山 雅夫)
- * トータル約 6 時間の講義になります。

講師紹介

東北大学・名誉教授 丸山 公一
東京都立大学・教授 笥 幸次
東京科学大学・名誉教授 竹山 雅夫

申込締切 2026年11月9日(月)

詳細 <https://jimm.jp/event/online/>
まてりあ 9号684頁



『凝固の科学』

配信：2026年10月1日(木)～10月30日(金)

カリキュラム

- 1 時限目 凝固の基礎(講師：安田 秀幸)
 - 2 時限目 組織選択 (講師：安田 秀幸)
 - 3 時限目 鋳造欠陥 (講師：安田 秀幸)
 - 4 時限目 急冷凝固 (講師：安田 秀幸)
 - 5 時限目 レーザープロセスにおける凝固現象(講師：森下 浩平)
- ※ トータル約 6 時間半の講義になります。

講師紹介

京都大学・教授 安田 秀幸
九州大学・教授 森下 浩平

申込締切 2026年10月8日(木)

詳細 <https://jimm.jp/event/online/>
まてりあ 8号607頁

〈公募類記事・集会・セミナー・講習会・募集・お知らせ・助成〉
分量：1/4頁(700～800文字)程度。

- 1.「まてりあ」とホームページに掲載：16,500円
2. ホームページのみ掲載：11,000円
3. DM(ダイレクトメール)発信のみ：11,000円
4. 1.2にDM発信を追加する場合：5,500円
(公募求人追加は不可)

〈新刊案内〉会員による出版案内(書誌情報の掲載：無料)
原稿締切・掲載号：毎月1日締切で翌月号1回掲載。
原稿提出先：E-mail: materia@jimmm.jp
提出方法：電子メール(受け取りメールの確認をして下さい)

公 募

◇NIMS 物質・材料研究機構研究職(正職員)公募◇

公募人数

物質・材料一般(分野不問, 女性枠あり) 数名
分野指定公募2分野 各1名

専門分野

- ①物質・材料一般(材料としての応用を見据えた物質・材料に関する基礎・基盤研究ならびに応用研究. 特に以下を優遇; 水素関連材料, 蓄電池材料, 量子マテリアル, 半導体材料, 人工知能材料, 金属・無機材料, 有機材料, バイオ材料, データ駆動型材料開発, 先端材料解析技術)
- ②物質・材料一般(女性枠)
- ③溶接・接合
- ④光学ナノ材料

公募締切 2026年10月21日(水)

研究内容, 応募資格, 応募方法など詳細は当機構のホームページを参照.

<https://www.nims.go.jp/employment/index.html>

問合せ先

〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-2-1
国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)
人事・総務部門 人材開発室
☎ 029-859-2555, E-mail: nims-recruit@nims.go.jp

集 会

◇レアメタル研究会◇

- 主 催 レアメタル研究会
- 主 宰 者 東京大学生産技術研究所 教授 岡部 徹
- 協 力 (一財)生産技術研究奨励会(特別研究会 RC-40)
- 共 催 東京大学マテリアル工学セミナー
レアメタルの環境調和型リサイクル技術の開発研究会
東京大学生産技術研究所 持続型材料エネルギーインテグレーション研究センター
東京大学生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付研究部門(JX 金属寄付ユニット)
- 協 賛 (公社)日本金属学会 他
- 開催会場 東京大学生産技術研究所
An 棟 2F コンベンションホール 他
〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1
(最寄り駅: 駒場東大前, 東北沢, 代々木上原)
- 参加登録・問い合わせ 岡部研究室 宮崎智子
参加登録 E-mail: okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
問い合わせ E-mail: tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp

令和8年度 レアメタル研究会のご案内

(2026.8.25現在)

- 第123回 2026年11月6日(金)14:00～
An 棟 2F コンベンションホール
★チタンシンポジウム(第10回)★(合同開催)
リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリッド研究会
テーマ: チタンの現状と未来
午後2:00～ 講演【敬称略】
★プログラムの順番等は変更する可能性があります★
・東邦チタニウムと JX 金属(旧・日本鉱業)(40分)
東邦チタニウム株式会社 副社長執行役員 百野 修
・航空機用チタン合金の鍛造技術の現状と将来展望(仮)(40分)
株式会社神戸製鋼所 チタンユニット チタン工場 技術部 部長 百田悠介
・チタンの軽元素メタラジー(40分)
東北大学大学院 工学研究科 材料システム工学専攻 教授 成島尚之
・チタン研究の最近の進歩(仮)(40分)
東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹
・クロール法における生産性向上と品質の追求(仮)(40分)
株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ 技術部長 兼 DX 推進部長 山本慎也
午後6:00～研究交流会・意見交換会
@An 棟 2F ホワイエ+チタンシンポ, 第10回開催記念祝賀会

■第124回 2027年1月8日(金)14:00～
An棟2F コンベンションホール
【オンライン配信(Zoom Webinar, YouTube など)は行わない予定です】
★貴金属シンポジウム(第14回)+新年会★(合同開催)
テーマ: 貴金属の精錬・リサイクル
午後2:00～ 企画中
午後6:00～研究交流会・意見交換会
@An棟2F ホワイエ+貴金属シンポ, 新年会

■第125回 2027年3月12日(金)14:00～
東京大学・本郷・伊藤国際学術研究センター
伊藤謝恩ホール
リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリッド研究会
テーマ: 朱鴻民教授が熱く語る特別シンポジウム+慰労会
★(合同開催)
午後2:00～ 講演【敬称略】
★プログラムの順番等は変更する可能性があります★
•Electrochemical refining for high-purity titanium(仮)
(30分)
北京科技大学(University of Science and Technology
Beijing)教授 Prof. Jiao Shuqiang 焦树强

•巨人の肩に乗る(仮)(30分)
北京科技大学(University of Science and Technology
Beijing)教授 Prof. Lu Xin 卢鑫
•朱鴻民先生のもとで学び(仮)(30分)
東北大学大学院工学研究科 教授 竹田 修
•朱先生との思い出(仮)(20分)
東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹
•溶融塩とレアメタル(仮)(60分)
東北大学大学院 工学研究科 教授 朱 鴻民
午後6:00～研究交流会・意見交換会
@伊藤国際学術研究センター ホワイエ+朱教授ご退職お
祝いの会

レアメタル研究会ホームページ
https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40_j.html

◇ 掲示板はホームページにも掲載しております. ◇
https://jimm.jp/information/bulletin_board/

新 入 会 員 (2026年7月1日～2026年7月31日)

正 員

小笠原 剛	国立研究開発法人産業技術総合研究所	谷口 宗大	公益財団法人鉄道総合技術研究所	王 思遠	大豊工業株式会社
塩田竜太郎	株式会社徳力本店	富澤智香子	TDK 株式会社	呉 志豪	東北大学
SONG Fangzhou	高エネルギー加速器研究機構	水谷 仁美	京都大学	Xiuqun Wang	京都大学

学 生 員

相 沢 星 流	東北学院大学	三 枝 直 樹	北海道大学	野 坂 充 生	北海道大学
阿 部 元 樹	富山大学	佐 藤 洸 樹	横浜国立大学	丸 野 行 庸	名古屋工業大学
伊 藤 碧 海	芝浦工業大学	四 戸 源 希	東北大学	森口雄太郎	京都大学
植 田 大 地	島根大学	田 籠 祐 哉	大阪大学	山 野 雄 貴	九州大学
河 邊 庸 光	北海道大学	堅 道 想 太	東京大学	横山シモン	東京理科大学
草 野 太 貴	九州大学	Qiu Zhonghao	熊本大学	李ユウテイ	名古屋工業大学
工 藤 友 也	北海道大学	トゥラシーダラン ナイル ギリジャクマ		渡 邊 拓 弥	熊本大学
光 崎 陵 介	秋田県立大学	リ ニキル Kumamoto University			
小 原 敦 志	東北学院大学	長 田 利 彦	九州大学		

ユース会員

茂呂居千恵 つくば秀英高等学校

日本金属学会誌掲載論文

Vol. 90, No. 10 (2026)

——オーバービュー——

骨再建に向けた生体活性リン酸塩ガラス基盤の材料設計：金属イオン溶出と異方性足場を用いたアプローチ
李 誠鎬

——論文——

電気亜鉛めっき鋼板における Zn と Fe の結晶方位関係に及ぼす電流密度および基板表面性状の影響

今谷 祐貴, 大上 悟, 中野 博昭

レーザ指向性エネルギー堆積法で造形した軟磁性材料の組織および直流磁気特性評価

池畑 秀哲, 宮下 広司, 北 拓也, 和田 耕昇,
渡邊 朋泰, 伴 美織, 森本 光香, 桑 康弘

Materials Transactions 掲載論文

Vol. 67, No. 10 (2026)

——Review——

Recent Progress and Challenges in Molten Salt Reactors: Materials, Chemistry, and Corrosion Control toward Carbon-Neutral Energy Systems

Michihisa Fukumoto, Keita Itano, Hiroki Takahashi,
Julien Pertuiset, Laure Martinelli and Clara Desgranges

Review—History and Future Issues in the Research and Development of Al-Zn-Mg Alloys

Hideo Yoshida and Mami Mihara-Narita

——Regular Article——

Materials Physics

Effect of Transition Metal Elements (TM = Zn, Cu, Ni) on Phase Stability of LPSO Phases and Experimental Verification of Occupancy Positions of TM Atoms in Mg-Co-Y Based Alloys

Koya Iwase, Yuto Handa, Ryosuke Yamagata,
Toshiaki Horiuchi, Seiji Miura and Takaomi Itoi

Microstructure of Materials

Mapping Trace Hydrogen by 3D Atom Probe: Optimizing Experimental Workflows

Mainak Saha, Zehao Li, Yasuo Shimizu, Yuji Tanaka,
Takaaki Tanaka, Kazuki Endoh, Yuhei Ogawa,
Osamu Takakuwa, Rintaro Ueji, Akinobu Shibata,
Tadakatsu Ohkubo and Taisuke T. Sasaki

Rapid Hydrogen Generation Behavior of Mg-In-Ga Alloy Systems with a Local Galvanic Cell Structure

Ryota Nagata, Asahi Hirose, Koya Iwase,
Taiyo Matsui, Ryuta Murakami, Ryosuke Yamagata
and Takaomi Itoi

In-Situ Heating Observation of Precipitation Behavior with Dislocation Emission in Nitrogen-Added Austenitic Heat-Resistant Steels

Yasuhiro Kawahara, Hiroki Harako, Kento Hani,
Genichi Shigesato, Chikako Takushima, Jun-ichi Hamada
and Toshihiro Tsuchiyama

Significant Enhancement of Exciton Luminescence in Br-Rich Copper Halide Mixed-Crystal Thin Films on Lattice-Matched Substrates

Masayoshi Ichimiya, Daiki Uehigashi, Takahiko Ban
and Junichi Yanagisawa

Effect of Ti Addition on Microstructural Changes of Laser-Beam Powder Bed Fused Al-Fe Alloy at Elevated Temperatures

Misaki Deguchi, Takanobu Miyawaki, Junji Umeda,
Yuhki Tsukada and Naoki Takata

Temperature-Dependent Phase Separation and Microstructural Evolution in a TiZrNbTaMo Refractory High-Entropy Alloy

Haruka Katayama, Andrea Školáková, Jan Drahokoupil,
Pavel Lejček and Sadahiro Tsurekawa

Mechanics of Materials

Anisotropy of Consolidation Yield Stress and Comparison with Anisotropy of Elastic Wave Velocity and Tensile Strength in Sedimentary Soft Rocks

Masahiro Miyazaki, Nana Kamiya, Weiren Lin
and Kazuya Ishitsuka

Effect of Stress Concentration and Microstructure on Fatigue Strength of Arc-Welded Joints Made of Ultra-High Strength Steel Sheets

Naoki Yamaguchi, Tsuyoshi Shiozaki, Yoshikiyo Tamai,
Yuji Ichikawa and Kazuhiro Ogawa

Effects of Si and Al on the Microstructure and Oxidation Resistance of $\text{Mo}_{0.5}\text{NbHf}_{0.5}\text{Ti}$ Refractory High Entropy Alloy

Wei Yu, Rui Li and Song Zhang

Effects of Process Parameters on Joint Formation and Mechanical Performance of Self-Piercing Riveted Dissimilar Joints between B1500HS Steel and AZ31B Magnesium Alloy

Xiao-Nan Fang, Tzu-Hsing Ko, Chuan-Yu Jiang,
Yun Wen and Zhe Li

Materials Chemistry

Investigation on Nd Metal Production via Electrolysis of Nd_2O_3 in $\text{NdF}_3\text{-LiF}$ Molten Salt under Saturated Nd Metal Condition

Hyeong-Jun Jeoung, Hyunsu Kim, Seunghyun Shin
and Jungshin Kang

Effects of Sulfate and Hydrogen Carbonate Ions on Pitting Corrosion of Copper in the Presence of Scale Dispersants and Corrosion Inhibitors

Taichi Matsumoto, Fuka Takahashi, Toyohiro Arima,
Kaho Sugiura, Osamu Sakurada, Takashi Iyasu,
Yutaka Yamada, Yuya Kawauchi and Masayuki Itagaki



まてりあ第65巻11号 予告

〔受賞者紹介〕 2026年秋

〔最近の研究〕 重い電子系物質 CeSb_2 における強磁性形状記憶効果 東北大 三宅厚志 許 晶 青木 大

〔入門講座〕 永久磁石材料学の諸要素 第7回 永久磁石の組織形成プロセスと熱力学(その1) フェロー 広沢 哲

—他—

—編集の都合により変更になる場合がございます—



書 評

イラスト図解 ファラデーの「錆びない鉄」

田中和明 著

ファラデー定数や電磁誘導の発見で知られる物理学者マイケル・ファラデー(Michael Faraday)は、電磁気学の大きな功績で広く知られています。しかし、彼が20代の若き日に金属学に関する先駆的な研究を行っていた事実は、一般にはあまり知られていないのではないのでしょうか。本書は、40年間にわたり製鉄現場の技術者として活躍し、日本技術士会金属部会長も務める田中和明氏(本学会員)が、ファラデーの知られざる金属学的業績にスポットを当てた一冊です。ファラデーが手掛けた「錆びない鉄」の試作から、100年の時を経て発見・解析されたサンプルが物語る先駆的知見まで、豊富なイラストと図解を交えて明快地紐解いています。本書の最大の特徴は、単なる伝記的エピソードの紹介にとどまらず、著者の長年の実務経験や現地取材の実体験に基づいた「金属材料学・製錬技術」の深い視点が盛り込まれている点にあります。ファラデーらは1810~1820年代にかけて、各種元素を添加した多数の合金鋼を試作しました。これらの試

みについて、当時の還元・溶製技術の限界や耐食性発現のメカニズムが、臨場感あふれる対話風のストーリー展開を交えて分かりやすく解説されています。図解やイラストを多用した親しみやすい構成でありながら、扱われている主題は材料組織、耐食性、合金設計といった金属工学の根幹に関わる内容です。ファラデーがなぜ「金属」という物質の変容に魅せられたのか、その純粋な探究心が現代の合金開発の礎へとどのように繋がっているかが克明に描かれています。本学会員をはじめとする専門家・技術者にとっては、自らの専門分野の原点を再確認し、技術史的な洞察を得る絶好の機会となるでしょう。また、若手研究者や学生に対する材料科学の入門書としても極めて有用であり、幅広い層に自信を持って一読を勧めたい一冊です。

〔2026年 四六判 秀和システム新社 380頁 定価 本体2,000円+税
ISBN : 978-4-7980-7439-9〕

行事カレンダー

太字本会主催(ホームページ掲載)

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
2026年10月				
1～30	オンデマンド配信：オンライン教育講座「凝固の科学」(本号748頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/	10.8
5～2027.3.31	関西支部2026年度 On-demand 講座「金属学を学び直す」(オンライン)	日本塑性加工学会 関西支部	kansai@jstp.or.jp	2027.3.1
5	第261回西山記念技術講座「実測データに基づいたプロセス制御・計測技術」(早稲田大)	日本鉄鋼協会	TEL 03-3669-5933 educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2026/nishiyama261.html	9.3
6	第19回フラクトグラフィシンポジウム(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 fractosym@jsms.jp http://www.jsms.jp/	講演 7.31
6～7	第7回EBSD法による損傷評価講習会	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	9.11
6～9	第12回材料WEEK(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	
7～8	第48回初心者のための疲労設計講習会(京都+ハイブリッド開催)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp	9.25
7～9	Advanced Metallization Conference 2026 (ADMETA)(東京・オンライン)	応用物理学会	TEL 03-5962-3145 jimukyoku@admeta.org https://www.admeta.org/	
8	第101回技術セミナー(東京+ハイブリッド開催)	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 naito-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/101.html	
8	金属学会講習会「～電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用：電池から腐食まで～」(阪大)(9号680頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/symposium/seminar.html	9.29
13	第137回シンポジウム「チタンの現状と将来を知る～チタンの基礎から応用事例まで～」(関西大+ハイブリッド開催)	軽金属学会	TEL 03-3538-0232 https://www.jilm.or.jp/	100名
15	第36回安全管理の最新動向講習会(2)「化学物質による様々なリスク」(東京+ハイブリッド開催)	安全工学会	TEL 03-6206-2840 jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/Events	10.1
19～23	ACSIN-16/ICSPM34(姫路)	応用物理学会	TEL 079-267-4909 heya@eng.u-hyogo.ac.jp https://dora.bk.tsukuba.ac.jp/event/acsin16/	
21～23	第73回材料と環境討論会(札幌)	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/731021.html	
22～23	表面分析実践講座エキスパート2026「実践！最新走査電子顕微鏡を用いた高度な実習」(東北大)	日本表面真空学会	TEL 03-3812-0266 office@jvss.jp	9.28
22～23	第62回X線分析討論会(松江)	日本分析化学会X線分析研究懇談会	https://xbun.jsac.jp/conference/no62.html	
23	第274回塑性加工技術セミナー「伸線・伸管(引抜き)加工の基礎技術」(東京)	日本塑性加工学会	https://www.jstp.jp	100名
23～25	日本銅学会第66回講演大会(北大)	日本銅学会	TEL 03-6803-0587 dou-gakkai@copper-brass.gr.jp	
26～27	第25回アコースティック・エミッション総合コンファレンスー“音や振動”で拓くNDEの最前線ー(北大)	日本非破壊検査協会	TEL 03-5609-4015 yasoshima@jsndi.or.jp https://sciences.jsndi.jp/acoustic/	
28～29	第54回日本ガスタービン学会定期講演会(下関)	日本ガスタービン学会	TEL 03-3365-0095 gtsj-office@gtsj.or.jp	
31	関東支部山梨講演会2026(山梨大)	日本機械学会関東支部	TEL 055-220-8432 sohara@yamanashi.ac.jp	事前 10.16
2026年11月				
1～6	【lead-Zinc 2026】11 th International Symposium on Lead and Zinc Processing 第11回鉛-亜鉛製錬に関する国際シンポジウム(仙台)	資源・素材学会	TEL 03-3402-0541 lead-zinc2026@mmij.or.jp	
2～30	オンデマンド配信：オンライン教育講座「耐熱材料」(本号748頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online	11.9
4～6	第51回コロージョン・セミナー(岡山)	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 naito-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/51corr.html	10.26
5	第23回ヤングメタラジスト研究交流会(千葉)(本号743頁)	関東支部	sh-higuchi@jfe-steel.co.jp matsumura.r.aa@m.titech.ac.jp	参加 10.15
5	第205回腐食防食シンポジウム(東京理科大)	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/205.html	10.28
5	スマートプロセス学会2026年度学術講演会(大阪)	スマートプロセス学会	TEL 06-6879-8698 sps-office@smartprocess.or.jp	
6, 13, 20, 27, 12.4	粉末冶金の科学講座1～5(オンライン)	粉体粉末冶金協会	TEL 075-721-3650 info@jspm.or.jp	

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
6	第54回先端科学セミナー 電気化学のための計算化学入門(中央大)	電気化学会関東支部	kanto_seminar2026_sentan@kanto.electrochem.jp https://kanto.electrochem.jp/pages/notice/seminar/page-seminar_202610.html	10.15
6	第262回西山記念技術講座「実測データに基づいたプロセス制御・計測技術」(大阪+ハイブリッド)	日本鉄鋼協会	TEL 03-3669-5933 educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2026/nishiyama261.html	9.3
6	レアメタル研究会・チタンシンポジウム(東大生産技研/ハイブリッド開催)(本号749頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
8～13	The 12th International Conference on Multiscale Materials Modeling(韓国済州)	KIM(The Korean Institute of Metals and Materials)	TEL +82-2-573-6207 secretariat@mmm12.org https://www.mmm12.org/	
9	表面処理技術セミナー「ドライプロセスを中心に基礎から応用まで」第1回 基礎編(東京+ハイブリッド開催)	日本溶接協会	TEL 03-5823-6324 kanae_omiya@jwes.or.jp https://www-it.jwes.or.jp/	10.19
9～11	第37回疲労シンポジウム(伊勢)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimmu@jsms.jp http://fatigue.jsms.jp	
10	公開シンポジウム「大型プロジェクトによるバイオマテリアル研究開発」(神戸)	日本学術会議材料工学委員会・同バイオマテリアル分科会	nakano@mat.eng.osaka-u.ac.jp	
11	第275回塑性加工技術セミナー「金属積層造形プロセスのシミュレーションおよび最適化」(大同大)	日本塑性加工学会	https://www.jstp.jp	50名
11～13	第47回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム(北九州)	超音波エレクトロニクス協会	TEL 03-3259-0766 steering@use-jp.org https://www.use-jp.org/USE2026/sponsor/index.html	
12～13	第52回腐食防食入門講習会(東京+ハイブリッド開催)	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 naito-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/52nyumon.html	10.30
12～13	オンライン教育講座「構造材料の観察・分析技術(1):バルク組成分析」(本号746頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online	11.5
13	第454回講習会「モニタリングの基礎講座—加工プロセスのモデル化からデータサイエンスの活用まで」(中央大+ハイブリッド開催)	精密工学会/精密測定技術振興財団	https://www.jspe.or.jp/custom-event/event-17388/	11.6
13	第28回ミレニアム・サイエンスフォーラム(東京)	ミレニアム・サイエンス・フォーラム	TEL 03-6744-4713 msf@oxinst.com https://www.msforum.jp/	
13～14	第105回塑性加工技術フォーラム「精密プレス加工の最新動向とこれから目指すべき方向性」(長野)	日本塑性加工学会, 諏訪圏工業メッセ2026実行委員会	https://www.jstp.jp	75名
13～15	軽金属学会第151回秋期大会(水戸+ハイブリッド開催)	軽金属学会	https://www.jilm.or.jp/convention/index	
16	腐食防食部門委員会第369回例会(大阪)	日本材料学会	jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp	11.6 正午
17	第66回「現場の硬さ試験」講習会(東京都市大)	日本材料試験技術協会	TEL 047-431-7451 gyomu2@ystl.jp	11.10
19～20	第58回溶融塩化学討論会(東北大)	電気化学会溶融塩委員会	https://msc.electrochem.jp/symposium/symposium.html	
21～23	第47回日本熱物性シンポジウム(東京科学大)	日本熱物性学会	info2026@jstp-symp.org https://jstp-symp.org/symp2026/	
21～23	第62回熱測定討論会(東京科学大)	日本熱測定学会	TEL 03-6310-6831 netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org	
24～26	第55回結晶成長国内会議(JCCG-55)(北大)	日本結晶成長学会	TEL 070-5047-3339 jccg-55@jacg.jp https://www.jacg.jp/jp/event/2026/jccg-55/index.html	
25	2026年度 関東支部見学会(相模原)(本号744頁)	関東支部	https://forms.gle/pKkRcsHDqUfdUUuQ8	11.10
26～27	第197回塑性加工学講座「板材成形の基礎と応用～実践編～」(オンライン)	日本塑性加工学会	https://www.jstp.jp	50名
26～27	2026年度 軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」(掛川)	軽金属学会	TEL 03-3538-0232 jilm-general@jilm.or.jp https://www.jilm.or.jp/	40名
26～27	第59回安全工学研究発表会(山形+ハイブリッド開催)	安全工学会	TEL 03-6206-2840 jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/Events	11.4早期 参加登録
26～27	第64回高温強度シンポジウム(奈良)	日本材料学会	TEL 075-761-5325 jimmu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	参加 10.16
27	第51回溶接学会東支部 実用溶接講座(見学会&講演会)(藤沢)	溶接学会東支部	TEL 044-222-4102 jws_east@jwsc.or.jp	30名 11.3
30～12.28	オンデマンド配信:オンライン教育講座「医療用無機材料の表面反応」(本号747頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/	12.7
2026年12月				
2	実用表面分析セミナー2026(神戸大)	日本表面真空学会 関西支部	https://jvsskansai.smoosy.atlas.jp/ja/kansai_jitsuyou27	12.1

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
3	第3回 国際連携を見据えたマグネシウム・チタン若手研究会(オンライン開催)	軽金属学会	TEL 03-3538-0232 jilm-general@jilm.or.jp https://www.jilm.or.jp/	100名
2～4	日本中性子科学会第26回年会(九大)	日本中性子科学会	TEL 092-871-6631(6241) jsns2026@fukuoka-u.ac.jp	
3～4	第41回分析電子顕微鏡討論会(オンライン)	日本顕微鏡学会分析電子顕微鏡分科会	bunseki.touron.41@gmail.com https://sites.google.com/view/bunseki-touron-41/	11.24 150名
3～4	オンライン教育講座「医療用金属材料の基礎 2」(本号746頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online	11.26
3～4	第35回新構造・機能制御と傾斜機能材料シンポジウム(FGMs 2026)(北大)	傾斜機能材料研究会	https://fgms.net/event-info/domestic-symposium/	
4～5	第37回信頼性シンポジウム—安心・安全を支える信頼性工学の新展開(愛媛大)	日本材料学会	https://www.jsms.jp	講演 9.18
7	表面処理技術セミナー「ドライプロセスを中心に基礎から応用まで」第2回 応用編(東京+ハイブリッド開催)	日本溶接協会	TEL 03-5823-6324 kanae_omiya@jwes.or.jp https://www-it.jwes.or.jp/	11.16
8～9	第32回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム(Mate2026)(横浜)	スマートプロセス学会他	TEL 06-4798-2078 mate@glm-p.com https://sps-mste.jp/mate/	6.30
11	第28回生体関連セラミックス討論会(名工大)	日本セラミックス協会生体関連材料部会	https://www.ceramic.or.jp/	80名
11	関西支部第39回塑性加工基礎講座「入門 結晶塑性シミュレーション(実習付き)」(京都大+ハイブリッド開催)	日本塑性加工学会関西支部	kansai@jstp.or.jp	11.27
14～16	第52回固体イオニクス討論会(九州)	固体イオニクス学会	TEL 022-217-5341 ssij@ssj-j.org https://www.ssi-j.org/symp/ssij52/	事前 10.30
2027年 1 月				
8	レアメタル研究会・貴金属シンポジウム(東大生産技研)(本号750頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
22	粉末冶金実用・応用講座(京都+ハイブリッド開催)	粉末粉末冶金協会	TEL 075-721-3650 info@jspm.or.jp	1.12
2027年 3 月				
2～4	2026年度量子ビームサイエンスフェスタ 第18回 MLF シンポジウム, 第44回 PF シンポジウム(つくば)	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所, J-PARC センター, 総合科学研究機構(CROSS), PF ユーザーアソシエーション(PF-UA), J-PARC MLF 利用者懇談会	qbsf2026-office@ml.post.kek.jp https://www2.kek.jp/imss/qbsf/2026/	
8～10	日本金属学会春期講演大会(東京科学大大岡山)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp	11号会告
12	レアメタル研究会(東大生産技研/ハイブリッド開催)(本号750頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
17～19	2027年塑性加工春季講演会(日大)	日本塑性加工学会	TEL 03-3435-8301 http://www.jstp.or.jp	
2027年 6 月				
14～18	第11回世界製鉄会議(ICSTI 2027)(札幌)	日本鉄鋼協会	TEL 011-272-2151 icsti2027@c-linkage.co.jp https://www.icsti2027.com/	
2027年 9 月				
22～24	日本金属学会秋期講演大会(広島大学東広島キャンパス)	日本金属学会	TEL 022-223-3687 annualm@jimm.jp	



会員情報のご変更は…

本会会員情報のご変更は,

本会ホームページ → 会員マイページ(個人会員のログイン) より手続きができますのでご利用下さい。

2026年度支部事務所のご案内

北海道支部

北海道大学大学院工学研究院

☎ 011-706-7112

E-mail: mai_nt@eng.hokudai.ac.jp

グエン タンマイ(助教)

東北支部

東北大学金属材料研究所

☎ 022-215-2110

E-mail: saeko.ito.d4@tohoku.ac.jp

伊藤佐江子

関東支部

東京科学大学物質理工学院

☎ 03-5734-3141

E-mail: fukushima.a.9769@m.isct.ac.jp

福島 彩

東海支部

名古屋大学工学研究科マテリアル工学系専攻内

☎ 052-789-4640

E-mail: tokai@material.nagoya-u.ac.jp

堀田依里

北陸信越支部

富山大学 都市デザイン学部

☎ 076-445-6840

E-mail: ikeno@ems.u-toyama.ac.jp

池野 進(シニアアドバイザー)

富山大学 学術研究部

☎/FAX 076-445-6839

E-mail: matsuda@sus.u-toyama.ac.jp

松田健二(教授)

関西支部

(一財)大阪科学技術センター ニューマテリアルセンター

☎ 06-6443-5326

E-mail: n-kansai@ostec.or.jp

小松 兼/森 知佐子

中国四国

島根大学材料エネルギー学部

☎ 0852-32-6398

E-mail: mosh@riko.shimane-u.ac.jp

森戸茂一(教授)

九州支部

九州工業大学大学院工学研究院

☎ 050-1735-9502

E-mail: tokita.shun315@mail.kyutech.jp

鴫田 駿(准教授)

2025, 2026年度会報編集委員会 (五十音順, 敬称略)

編集委員長	鈴木真由美					
編集副委員長	上田 恭介					
委員	池 尾 直 子	井田駿太郎	井 上 晋 一	岩 岡 秀 明	植 木 洸 輔	宇 部 卓 司
	大 塚 誠	大 橋 勇 介	小 笹 良 輔	川 崎 由 康	川 西 咲 子	郭 妍 伶
	河 野 義 樹	北 原 弘 基	北 村 一 浩	XU Xiao	小 嶋 隆 幸	國 枝 知 徳
	小 島 淳 平	小 山 元 道	齊 藤 雄 太	佐 藤 和 久	佐 藤 幸 生	篠 原 百 合
	佐々木秀顕	嶋 田 雄 介	新 里 恵 多	鈴 木 賢 紀	高 橋 弘 樹	高 山 直 樹
	竹 田 修	田 中 秀 明	田 辺 栄 司	Chang Tso - Fu Mark	陳 鵬	塚 田 祐 貴
	土井康太郎	豊木研太郎	永 井 崇	永 瀬 丈 嗣	袴 田 昌 高	長 谷 川 誠
	八 田 武 士	平 野 満 大	平 山 恭 介	細 川 明 秀	松 垣 あ い ら	松 本 洋 明
	三 井 好 古	宮 崎 秀 俊	宮 部 さ や か	森 谷 智 一	諸 岡 聡	山 崎 重 人
	山 本 知 一	吉 年 規 治	米 田 鈴 枝	李 誠 鎬		

ま て り あ 第65巻 第 10 号 (2026) 発行日 2026年 10 月 1 日 定価1,870円(本体1,700円+税10%)送料320円

発行所 公益社団法人日本金属学会

〒980-8544 仙台市青葉区一番町一丁目14-32

TEL 022-223-3685 FAX 022-223-6312

発行人 谷山 明

印刷所 小宮山印刷工業株式会社

発売所 丸善雄松堂株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川 1-28-23